

## 「さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～」

### 1 趣 旨

- ・主体的に社会に参画しようとしている青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身につけ、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する。
- ・「さんべボランティアセミナー」（以下、「ボラセミ」という。）の企画・運営に向けた話し合い活動や実習を通して、参加者同士のコミュニケーションを深めていく。

### 2 事業の概要

- (1) 期 日
- ①企画編 令和3年5月15日（土） <日帰り>
  - ②本番編 I. 令和3年6月12日（土）、13日（日） <両日日帰り>
  - II. 令和3年7月22日（木）、23日（金） <両日日帰り> ※中止
  - III. 令和3年9月25日（土）、26日（日） <25日のみ参加>
- (2) 会 場
- ①企画編 松江市城東公民館
  - ②本番編 I. 松江市城東公民館
  - II. 岩谷奨学会館 ※中止
  - III. 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 参加者
- ①企画編 8名 募集10名（島根大学 8名）
  - ②本番編 I. 8名 募集10名（島根大学 8名）
  - II. 名 募集10名 ※中止
  - III. 6名 募集10名（島根大学 6名）

#### (4) 研修内容

##### ①企画編

5/15	10:00	10:30		12:00	13:00		16:00
	受付	企画 説明	実習① 「アイスブレイク」	昼食	実習② 「ボラセミの話し合い・準備」		解散

##### ②本番編 I. II

6/12 7/22	9:30	9:45	11:00	12:30	13:30	16:30	18:30
	オープ ニング	講義 「青少年教育施設 の現状と運営」	演習 「ボランティア活動の技術」	昼食	演習 「ボランティア活動の技術」	講義・演習 「青少年教育施設におけるボ ランティア」	解散

6/13 7/23	9:30		12:30	13:30	16:30
	講義・演習 「安全管理研修」		昼食	講義・演習 「青少年教育」 「ボランティア活動の意義」	解散

##### ②本番編 III

9/25	11:00	11:30	12:15	13:00	16:30	17:30	19:15	21:30	22:30
	オープ ニング	講義 「青少年教育施設 の現状と運営」	昼食	演習 「ボランティア活動の技術」	講義・演習 「青少年教育施設における ボランティア」	入浴 休憩	演習 「ボランティア活 動の技術」	就寝 準備	就寝

9/26	6:30	9:00	12:00	13:15	16:45
	起床 掃除 朝食 退所点検	<b>講義・演習</b> 「安全管理研修」	昼食	<b>講義・演習</b> 「青少年教育」 「ボランティア活動の意義」	解散

※②本番編Ⅲについては、黄色部分の参加

### 3 事業の内容

#### (1) プログラムデザインと企画のポイント

これまでに当所で活動してきたボランティアが「先輩ボランティア」(以下、「先輩ボラ」という。)として、ボラセミの企画及び事業運営の補助に当たる。先輩ボラとボラセミ参加者がつながることによって、次の世代のボランティアの育成が継続して行えるように心掛けている。

#### (2) 運営のポイント

先輩ボラが、ボラセミ参加者への講義・演習「青少年教育施設におけるボランティア」の1コマの企画・運営を行う。ボラセミ参加者と活動をしていく中で、関わりを深めていき、当所でボランティア活動を行う意欲が高められるようにするとともに、効果的に学びを深め、円滑な人間関係を築けるようにした。

### 4 参加者へのアンケート結果

#### (1) アンケートの集計

##### ①企画編 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

##### ②本番編 I

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

##### Ⅲ

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

#### (2) 参加者の声

##### ①企画編

- ・自分たちの経験や活動を、今度は伝える側として今回の活動を行います。どれだけ相手に分かりやすく自分の思いを伝えることができるのかを意識しながら計画していきたい。伝える側としても得るものの多い活動にしていきたい。
- ・自分の成長につながるとても良い活動でした。自分の思いを伝える難しさ、大切さ、またその時に気を付けなければいけないことなど多くのことを改めて学ぶことができました。本番では、私がこれまでに学んできたことを生かし、1年生が参加して良かったと思える活動にしたいです。

## ②本番編

- ・改めて、法人ボランティアとはどういったものか考える良い機会でした。
- ・今後、人前で上手に伝えるスキルを身に付けたいと思いました。人前で話すことが苦手で、資料や同じところを見て話してしまうため、今回のような機会を多く経験したいと思いました。

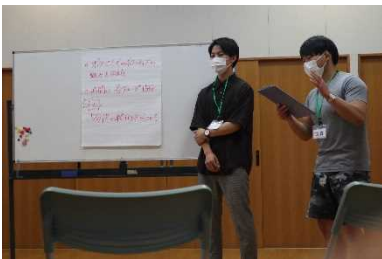
## 5 成果と課題

### 《成 果》

- ・ボラセミ参加者とのつながりを意識して取り組んだことで、今後の活動に対する意欲や先輩ボラとしての自覚を高めることになったとともに、自分たちの新たな課題を見つけることができた。
- ・「教育実習」や「インターンシップ」を控えている学生が多く集まった。ボラセミ参加者と関わり、当所でのボランティア活動についてわかりやすく説明する活動を通して、実感を伴った学びにつながった。その結果が、アンケート結果にもつながったと考える。

### 《課 題》

- ・当所のボランティア活動は、主に島根大学教育学部の「1000時間体験学修」と連携をしながら行っている。本事業の参加者は島根大学の学生のみで、当所に来ている法人ボランティアのほとんどが島根大学の学生である。次年度以降、ボランティアリーダー育成事業を計画・運営していく中で、島根大学だけでなく、他大学、社会人ボランティアなど、幅広く広報していく必要性を感じた。



企画編の様子



企画編の様子



本番編の様子

(担当：企画指導専門職付 福田 将大)